

外傷を受けた歯の注意

外傷を受けた歯は、長期的な経過観察が必要です。
今後以下のことに注意が必要です。

- ①外傷を受けた歯はしばらく安静にすることが大切です。強く噛むことは避けましょう。
- ②上下のどちらか一方に外傷を受けている際には、反対の歯も強打していることがあります。注意して観察しましょう。
- ③外傷を受けた歯は数年後にその影響が生じることもあります。時間が経過してから歯の根が溶けて動揺したり、歯の色が変色することがあります。その際は御連絡ください。
- ④乳歯が外傷を受けた際には、その下にある永久歯に影響が出ることがあります。
- ⑤顔面を強打している際には時間が経ってから手や足や脳に影響が出てくることもあります。その際は必ず御連絡ください。

※その他何か御座いましたら、すぐに以下の連絡先へ御連絡くださいますようお願い申し上げます。



ふたぎ歯科医院

